

支部長からのメッセージ

経済産業省

中部近畿産業保安監督部近畿支部

令和4年5月

国家公務員(技術系)を志望される皆様へ

中部近畿産業保安監督部近畿支部長の斎藤です。

「産業保安監督部」をご存知でしょうか。

「中部近畿産業保安監督部近畿支部」とは、近畿経済産業局とともに、経済産業省の地方支分部局として、近畿7府県域の経済、産業基盤を支える電力、都市ガス、高圧ガス、石油コンビナート等のエネルギーインフラに係る事故防止及び火薬類、鉱山の人への危害防止等、安全規制・安全施策の推進など「産業保安」に関わる業務を実施している組織です。

「産業保安」というと、ややなじみにくい分野と思われるかもしれませんが、国民生活を支える非常に身近な分野です。例えば、皆さんは日々の生活において停電がなく、当たり前のように電気を使用できます。このような電気やガス等を安全に、安定的に利用できるようにするのが「産業保安」です。

さて、幸いなことにこの2年間、近畿地域では、大きな自然災害は発生しておりませんが、平成30年6月の大阪府北部地震では、約一週間にわたり都市ガスの供給が停止し、同じ年9月の台風21号では、約二週間にわたって電気の供給が停止したことにより、大きな影響がでました。こうしたライフラインなどへの影響をできる限り最小限とするため、中部近畿産業保安監督部近畿支部(以下、近畿支部)は、平時から関係業界に対する指導監督に努めており、仮に災害が発生し、ライフラインに被害が生じた場合には、関係業界と一丸となって迅速な復旧に向けた対応を行っています。

このように近畿支部職員一同は、技術系職員ならではの高い専門性を活かし、国民の安全な生活、経済の維持・発展のため、社会の重要基盤を支える業務を行っております。併せて、平時の業務では、無駄なく効率良く行うことを念頭に、職員一人一人がワークライフバランスを向上させるよう、働き方改革も進めております。

こうした取組を行っている近畿支部は、同じ経済産業省の地方局である近畿経済産業局と密接な人事交流をもち、近畿支部職員は関西における産業育成、地域経済の振興などの様々なキャリアを蓄積することが可能であり、さらには経済産業省本省での政策立案業務など様々な業務を経験する機会もあります。

私自身も平成元年に入省して30年以上経ちますが、札幌鉱山保安監督局(当時。現・北海道産業保安監督部)を皮切りに、これまで産業保安のみならず、資源開発、通商政策、産業振興、経済協力、大使館勤務など様々な分野での業務を経験し、その蓄積が大きな財産となっています。



国家公務員採用試験を受験した技術系学生の皆様で、私どもの業務、そして職場に興味を持たれた方は、是非とも、中部近畿産業保安監督部近畿支部を訪問してください。

心よりお待ちしております。

中部近畿産業保安監督部近畿支部
支部長 斎藤 秀幸